

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 6 年 4 月 18 日(2024.4.18)

【公開番号】特開 2023-165889(P2023-165889A)
【公開日】令和 5 年 11 月 17 日(2023.11.17)
【年通号数】公開公報(特許)2023-217
【出願番号】特願 2023-164712(P2023-164712)
【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 6 A

A 6 3 F 7/02 3 1 2 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 6 年 4 月 10 日(2024.4.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 の入球口と、その第 1 の入球口よりも遊技領域の下流側に配設される第 2 の入球口とを備えた遊技機において、

前記第 1 の入球口に入球されず流下する遊技球が流下可能な経路を形成する経路形成手段と、

前記遊技領域が正面側に形成される遊技盤と、

その遊技盤の正面側へ突出可能かつ正面側から退避可能に形成される板状の案内部材とを備え、

30

前記経路形成手段は、前記第 1 の入球口に入球されずに流下する遊技球を受け入れる受入部と、その受入部から流入された遊技球を前記経路形成手段から流出させる流出部とを備え、光透過性材料から形成され、

前記経路形成手段を流下する遊技球は、前記遊技盤の正面側へ突出された前記案内部材によって案内され、前記流出部から流出されて前記第 2 の入球口に入球可能とされ、正面視における前記案内部材の重力方向下方において、特定の入球領域の少なくとも一部が前記案内部材の少なくとも一部と重なるように形成されることを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

40

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

この目的を達成するために請求項 1 記載の遊技機は、第 1 の入球口と、その第 1 の入球口よりも遊技領域の下流側に配設される第 2 の入球口とを備えたものであり、前記第 1 の入球口に入球されず流下する遊技球が流下可能な経路を形成する経路形成手段と、前記遊技領域が正面側に形成される遊技盤と、その遊技盤の正面側へ突出可能かつ正面側から退避可能に形成される板状の案内部材とを備え、前記経路形成手段は、前記第 1 の入球口に入球されずに流下する遊技球を受け入れる受入部と、その受入部から流入された遊技球を前記経路形成手段から流出させる流出部とを備え、光透過性材料から形成され、前記経路

50

形成手段を流下する遊技球は、前記遊技盤の正面側へ突出された前記案内部材によって案内され、前記流出部から流出されて前記第２の入球口に入球可能とされ、正面視における前記案内部材の重力方向下方において、特定の入球領域の少なくとも一部が前記案内部材の少なくとも一部と重なるように形成される。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０４３０

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０４３０】

10

一方、図８７（ｂ）示すように、可変入賞装置６５０が駆動された（可変板がスライド変位された）状態では、可変入賞装置６５０の可変板６５２がベース板６３０の中央凹部６３２よりも正面側に突出した状態とされる。よって、連結孔６３２ｂから排出される遊技球は、可変板６５２の上面に送球される。

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０９４３

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０９４３】

20

１０	パチンコ機（遊技機）
１３	遊技盤
２６	左始動入賞口（第１の入球口）
２７	右始動入賞口（第１の入球口）
７１	<u>アウト口（特定の入球領域）</u>
<u>６３０，１１６３０</u>	<u>ベース板（経路形成手段）</u>
６３１ｂ	第２貫通孔（受入部）
６３２ａ	貫通孔（第２の入球口）
<u>６３２ｂ，１１６３２ｂ</u>	<u>連結孔（流出部）</u>
６３３ｂ	第２貫通孔（受入部）
６４０， <u>１１６４０</u>	<u>経路部材（経路形成手段）</u>
<u>６５２，１１６５２</u>	<u>可変板（案内部材）</u>

30

40

50